



池神社の拝殿 下北山村で

役行者ゆかり 池がご神体

(奈良まほろばソムリエの会会員 奥田八尋)



(住所) 下北山村池峰1
 (祭神) 市杵島姫命、天兒屋根命、少那彦命
 (交通) 近鉄大和上市駅からR16

9ゆうゆうバス「池峯公園」
 下車(土砂崩れで連休中)
 (拝観) 境内自由
 (電話) 07468・5・2241

池神社 (下北山村)

池神社は下北山村池峰にある明神池のほとりに鎮座します。この池は周囲が約1キロもある県内最大の天然池で、神社のご神体です。1300年ほど前に池の水面が荒れ狂ったとき、修験道の開祖、役行者が三日三晩の祈願で水神の怒りを鎮め、水神を祭る社を建てると



うに命じて創建されたと伝われます。

主祭神は、市杵島姫命で、雨乞いのご利益で知られ、村内だけではなく、広く南紀熊野地方でも信仰を集めています。同村によると、神秘的な雰囲気包まれた明神池には「七不思議」があるとされます。その一つが

「入る谷無し 出る川無し」なのに、決して枯れず、水位がひとりでに上昇することです。池は標高370メートルほどの峰の上にあります、一周する遊歩道を歩いて、流れ出る川や注ぎ込む谷は、どこにもありません。それでも、いつも水をたたえています。神社を訪れるほとんど

の人が、拝殿でお参りする前に、池の社の箱の中から餌を買い、コイに与えます。コイや亀が参詣者に癒やしとパワーを与えてくれるようです。神社は7地区ごとにある神事の主宰者「頭屋」によって維持され、村民の心のよりどころであり、池や境内の木々とともに大切に守られています。